

令和3年度 予算編成方針

「新しい生活様式」実現型
課題解決先進都市の創生
～「誰一人取り残さない郡山」
を目指す新年度予算～



郡 山 市

基本方針

「新しい生活様式」実現型
課題解決先進都市の創生
～「誰一人取り残さない郡山」
を目指す新年度予算～

基本方針

「新しい生活様式」実現型課題解決先進都市の創生
～「誰一人取り残さない郡山」を目指す新年度予算～

V 「部局間連携・部局間
協奏」による縦割り打破

IV 「防災コンパクト都市・
流域治水」による安全安
心実現

III 「市役所DX化」へ
の集中投資

II 「自助・共助・公助・
絆」に基づく公民協奏

I 「誰一人取り残さない」
SDGsの基本理念

政策推進5本柱

政策推進5本柱

I 「誰一人取り残さない」SDGsの基本理念

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



① 「誰一人取り残さない」 S D G s の基本理念



Ⅱ 「自助・共助・公助・絆」に基づく公民協奏



Ⅱ 「自助・共助・公助・絆」に基づく公民協奏



(第2層協議体)

Ⅲ 「市役所DX化」への集中投資



(子供の学びを保証するICT整備)

Ⅲ 「市役所 D X 化」 への集中投資

行政の D X

15 陸の豊かさも
守ろう

ペーパー（コピー）レス

13 気候変動に
具体的な対策を8 働きがいも
経済成長も

キャッシュレス

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

カウンターレス

8 働きがいも
経済成長も9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

ファイルレス

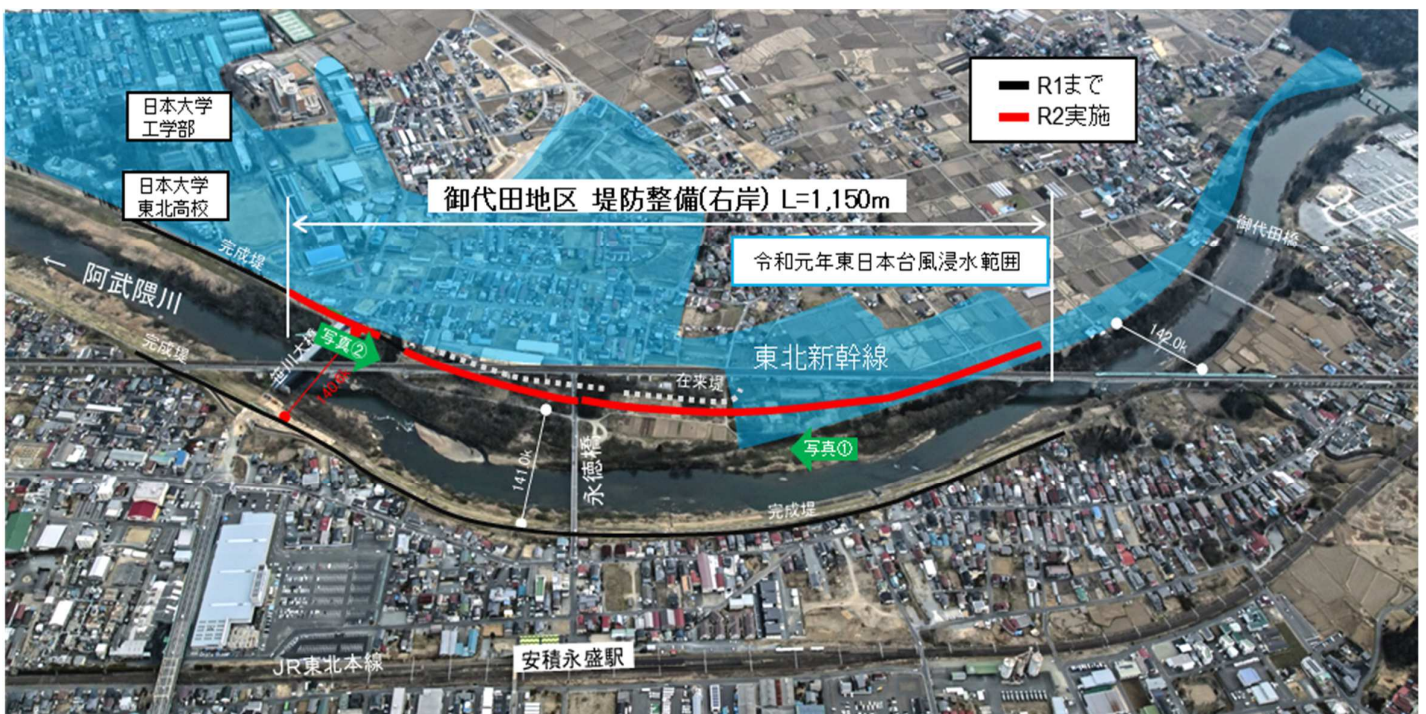
11 住み続けられる
まちづくりを7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

ムーブ（会議）レス

8 働きがいも
経済成長も

(5 レスの推進)

Ⅳ 「防災コンパクト都市・流域治水」による 安全安心実現



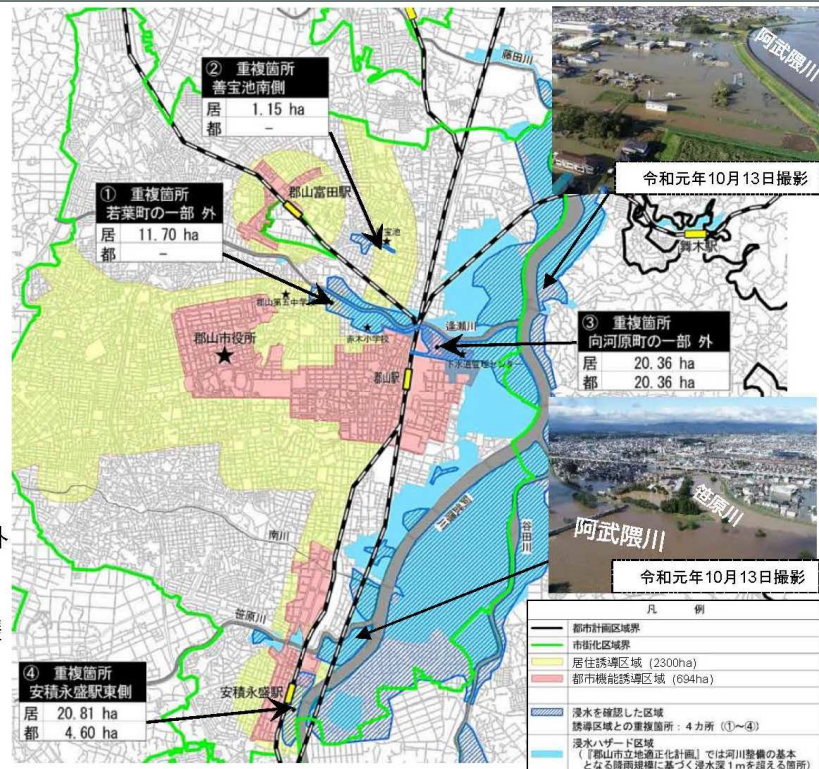
(流域治水の推進)

IV 「防災コンパクト都市・流域治水」による 安全安心実現

防災上の課題と 防災対策の取組の方向性

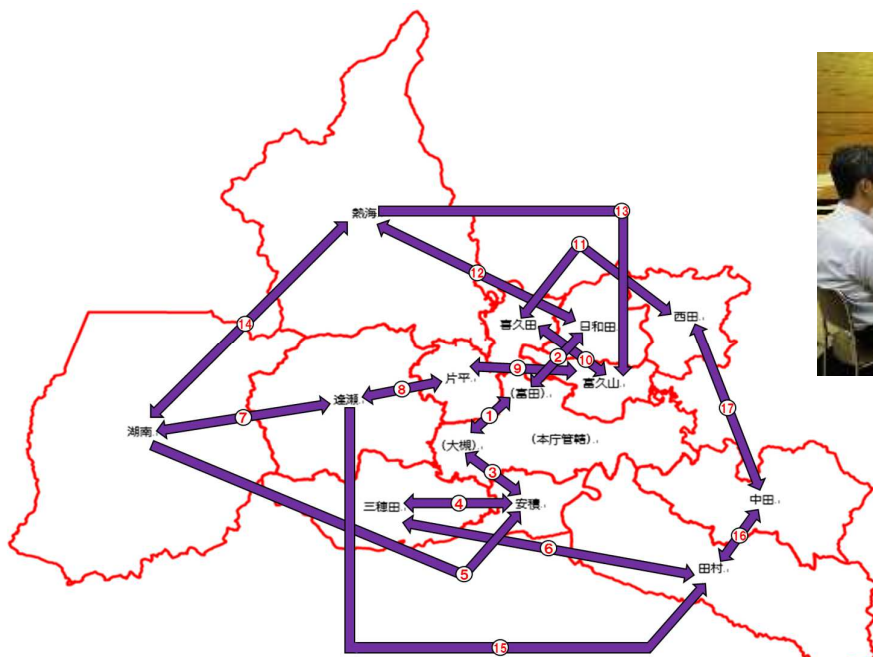
(現状) 居住誘導区域の設定はL1規模に基づく浸水深が1mを超える区域と家屋倒壊等氾濫想定区域を原則除外

- 居住誘導区域内の一部において
浸水被害が発生
 - 川沿いを中心に居住誘導区域
外においても浸水被害が発生(特
に工業団地で甚大な被害)
- 
- 居住誘導区域から浸水被害の除外
検討
 - 高齢者等の要配慮者避難対策
・住民による「地区防災マップ」作成支援
 - 居住誘導区域内の浸水対策
・雨水貯留施設の整備(内水対策)
 - 移転対策支援の検討
・移転者への財政支援



(防災コンパクト先行モデル都市)

V 「部局間連携・部局間協奏」による縦割り打破



(行政センター対口支援体制)



(各種研修ネットワークや共同研究による
人材育成、カイゼン運動)

新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応



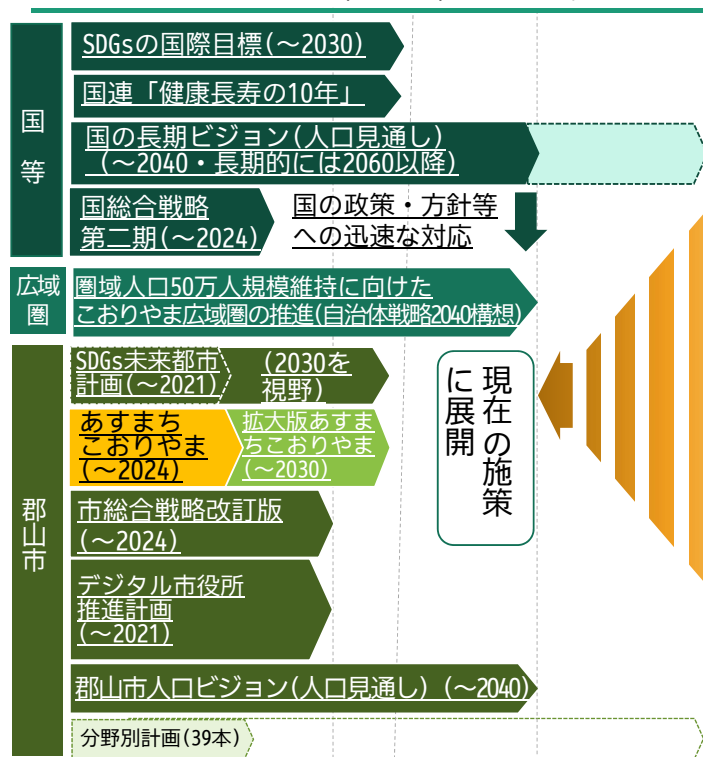
SDGs 誰一人取り残さない感染症・経済対策



バックカスティング思考による施策の展開

SDGsの基本理念を踏まえつつ、予見可能性の高い将来課題から現在のとるべき方策を考えるバックカスティングを基本として中長期的な計画を策定し、令和3年度の施策展開を図り、市政運営を行ってまいります。

2025年 2030年 2040年 2050年



予見可能性の高い主な将来課題

2025年

- 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者へ（超高齢化社の到来）
- 経産省DXレポート「2025年の崖」（複雑化・老朽化・ブラックボックス化による既存ITシステムが残存した場合に想定される国際競争への遅れや経済停滞等の問題）
- 自治体情報システムが全国標準化・共通化に
- 県内電力消費量が100%以上再生可能エネルギーに

2030年

- SDGsの国際目標の達成目標年度
- ガソリン車廃止(30年代半ばまでに)、北海道新幹線札幌延伸等モビリティシステムの変化

2040年

- 団塊ジュニア世代が65歳以上に（超高齢化社会の進行）
- 人口縮減時代への自治体行政の転換（自治体戦略2040構想）

2050年

- 二酸化炭素実質排出量ゼロの達成目標年度

バックカスティング思考

SDGsを踏まえた バックカスティング思考による基盤づくり

- ・こおりやま広域圏内の住民、事業者等の理解促進、認知度向上
- ・SDGs実践に取り組む機会の創出
- ・持続可能な社会づくりの担い手となる人材育成
- ・「SDGs体感未来都市」の実現



「こおりやま広域連携中枢都市圏」による 広域的視点による問題解決施策の推進

構成：16市町村（5市7町4村）
人口：約65万人（福島県の約3分の1）
面積：約3,313 km²（福島県の約4分の1）

【構成市町村】

郡山市、須賀川市、二本松市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町



国（総務省）の「連携中枢都市圏構想推進要綱」に基づき「こおりやま広域連携中枢都市圏（通称：こおりやま広域圏）」を形成

「こおりやま広域連携中枢都市圏」による 広域的視点による問題解決施策の推進

こおりやま広域圏の将来像と目標

将来像

「広め合う、高め合う、助け合う」 こおりやま広域圏 ～ 持続可能な圏域の創生 ～

圏域の中長期的な目標

各市町村それぞれの主体的なまちづくりの理念と課題を踏まえた将来展望実現に向け相互に資するとともに、広域的に学び、働き、暮らし続けることができる圏域づくりを推進する。

短期目標

・連携可能な事業からスモールスタートで取り組み、広域連携の土台を築く。

中長期目標

・産学金官連携、市町村間連携を本格化させ、住民が圏域形成メリットを実感できるようにする。
・市町村それぞれの主体的なまちづくりによる将来展望実現に相互に資する。

長期目標

・我が国の長期的な人口減少、少子高齢社会の進展を見据え、有機的連携により都市機能を維持し、持続可能な自治体プラットフォームを構築する。

2019

2020～2023

2024～

2040

財政健全化 国等における重点施策との整合性

「新しい生活様式」実現型 課題解決先進都市の創生 ～「誰一人取り残さない郡山」 を目指す新年度予算～

※令和3年度当初予算は、4月に市長選挙が執行されるため、原則、義務的経費、継続的事業及び市民生活に密着した事業を中心とした骨格予算となりますが、市民生活や生業の危機を確実に乗り越えるための必要な措置は、いわば危機管理予算として、今後の予算編成の中において検討していきます。

一市政へのご提案、ご意見をお寄せください一



市ウェブサイト

郡山 みなさんの声

検索



市民の声送ろうFAX

FAX 0120—435106